



令和2年度 長野市立裾花中学校 グラウンドデザイン



長野市教育振興基本計画「第二期しなのきプラン」

学校長の教育理念
つながる学校
人・時のつながりの中で、自ら考え、判断し、行動する生徒（自立）を育てる

本校の教育課題
・一人ひとりに確かな学力
・安全・安心な学校生活

学校教育目標
丹 自 敬
精 律 愛

めざす学校の姿
インクルーシブな教育を推進し、生徒と教師で「星花」（理想と自己実現）を求める、誇り高き学校

めざす教師の姿
生徒、保護者、地域、同僚とつながり、生徒と学校を愛し、学び続ける教師

本校がめざす生徒の姿

- ・深い思いやりをもって自他を大切にする生徒(敬愛)
- ・自分の生活を見つめ、よりよく生きようとする生徒(自律)
- ・課題をもって学び、自分を磨き鍛える生徒(丹精)

《本年度の 重点目標》

重点2
授業づくり 共に学び合うインクルーシブな教育を推進し、個別最適化された授業の実現により、学力の定着を目指します。

重点3
学校づくり 保護者や地域と連携し、教育力を取り入れながら、落ち着きと活気を両立する、「安全・安心な学校」を目指します。

重点1
人づくり グループ担任制の導入、校内中間教室の設置等、校内支援体制を整え、生徒の自己有用感や自己肯定感を高めていきます。

- 「人づくり」では**
- ①グループ担任制の導入により、より生徒一人ひとりの実態や願いに対応することのできる支援体制を整えていきます。
 - ②特別支援学級の活用、校内中間教室の設置、夜学の実施等、生徒の実態に即した居場所づくり、学びの場の提供に努めます。
 - ③生徒・保護者アンケート、生徒相談の時間を生かして生徒理解に努め、生徒の自己有用感を高め、自己肯定感が高まるよう取り組みます。
 - ④「友を思う日（5月）」等で「裾花中学校人権宣言」を見返し、命の尊さを確かめ合います。
- 「授業づくり」では**
- ①共に学び合うインクルーシブな教育を積極的に推進し、個別最適化された授業を目指します。
 - ②教科の枠を越えたグループで研修を積み重ね、「主体的・対話的で、深い学び」を実践し、生徒一人ひとりに未来を切り拓く学力の定着を目指します。
 - ③生徒主体の授業、家庭学習の実践に努めます。
 - ④全国学力・学習状況調査、NRT等の学力検査や定期テストの結果を分析し、授業改善に取り組みます。
- 「学校づくり」では**
- ①第62期生徒会スローガン「裾花改革」を掲げ「未来へつなぐ新たな柱、あいさつ・清掃・給食」を目指します。
 - ②あいさつ、給食、清掃、チャイム前着席など、本校が大切にしてきたことを徹底し、落ち着きのある学校を目指します。
 - ③小中連携教育や、地域に貢献し、地域を元気にするコミュニティ・スクールに取り組みます。
 - ④部活動については、職員は研修等で指導力の向上に努めると共に、ボランティアや部活動指導員の活用等、地域の力を積極的に活用していきます。また、地域での活動（社会教育等）の拠点づくりに向けて、地域と協働していきます。

